



消防千葉

2025 No.609 令和7年5月号

目次

巻頭言（千葉県防災危機管理部長）	2
令和6年度定期理事会・臨時評議員会	3
令和7年度消防協会事業計画	4・5
令和7年度消防協会主要行事予定	6
令和6年度千葉県消防広域応援隊合同訓練	7
第178期消防職員初任科卒業式	8
第179期消防職員初任科入校式	9
第75回千葉県消防大会	10
第77回日本消防協会定例表彰式	11
わが町の消防団（横芝光町消防団）	12
東西南北	13・14
日々の動き	14



頼朝桜と佐久間ダム公園（安房支部）

巻 頭 言

「防災県の確立に向けて」

千葉県防災危機管理部長 青柳 徹



消防職員、消防団員の皆様には、火災や風水害などの様々な災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守るため、昼夜を問わず献身的に御尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

近年自然災害が頻発化・激甚化している中、昨年8月には、宮崎県で震度6弱を観測した地震に対し、「南海トラフ地震臨時情報」が制度創設以来初めて発表され、大規模地震への警戒感が更に高まっております。

また、令和7年2月に発生した岩手県の林野火災では、地元消防・消防団をはじめ、緊急消防援助隊などの活動が大きく報じられ、県民の安全・安心を守る消防へ寄せられる期待は益々大きくなっています。

さて、今年は阪神淡路大震災から30年を迎えました。この間、本県では東日本大震災や令和元年房総半島台風など度々大きな災害に見舞われてきましたが、これらの過去の災害から得られた教訓を最大限に生かすとともに、災害から自らを守る「自助」、近隣住民が協力しながら地域を守る「共助」、県や市町村等による「公助」が一体となって防災対策に取り組むことが、大変重要です。

現在県では、防災インフラの整備、急速に発展しているデジタル技術を活用した被災者支援や、災害情報収集体制の強化など災害対応力の更なる強化を図るとともに、災害時に地域の中核として重要な役割を担う消防団員の加入促進や自主防災組織の活動支援など地域防災力の向上に取り組んでいるところです。

消防関係の皆様方におかれましても、災害から県民を守る「防災県」の確立に向け、一層の御協力をお願い申し上げます。

結びに、消防防災体制の強化、消防行政の円滑な推進のため、引き続き御指導御協力を賜りますようお願いするとともに、皆様方のますますの御健勝と御活躍を心から祈念し、御挨拶とさせていただきます。

令和6年度 千葉県消防協会定時理事会・臨時評議員会

令和7年度事業計画・収支予算等を議決

令和7年3月18日（火）千葉県消防協会定時理事会が千葉市内で開催されました。

石橋会長の挨拶の後、令和6年度収支補正予算、令和7年度事業計画及び収支予算など8議案について審議が行われ、全議案について決議を得て、3月25日（火）に開催された臨時評議員会において、全議案とも原案どおり承認及び決議されました。

決議・承認された議案及び報告事項等は次のとおりです。

【定時理事会】

◆ 議 案

議案第1号：公益財団法人千葉県消防協会弔慰引当資産及び会館準備積立資産の積立について

議案第2号：令和6年度公益財団法人千葉県消防協会の収支補正予算について

議案第3号：令和7年度公益財団法人千葉県消防協会の事業計画について

議案第4号：令和7年度公益財団法人千葉県消防協会の収支予算について

議案第5号：令和7年度公益財団法人千葉県消防協会の資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について

議案第6号：公益財団法人千葉県消防協会役員報酬等支給規程の一部改正について

議案第7号：公益財団法人千葉県消防協会職員給与規程の一部改正について

議案第8号：公益財団法人千葉県消防協会の評議員会の開催について



石橋会長挨拶

◆ 報告事項

○令和6年12月以降の職務の執行状況について

○公益財団法人千葉県消防協会の資産運用について

◆ その他

○公益財団法人千葉県消防協会の令和7年度主要行事予定について



定時理事会



臨時評議員会

令和 7 年 度 事 業 計 画

(公財) 千葉県消防協会

近年の自然災害は多様化、大規模化しており、東日本大震災以降も想定を超えた災害が多発し、全国各地に甚大な被害をもたらしています。昨年8月には、宮崎県で震度6弱を観測した地震により「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表されました。また、9月には台風14号から変わった低気圧や停滞する前線により、東北地方から西日本にかけて広い範囲で大雨となり、能登半島地震の被災地では、記録的豪雨により土砂崩れや河川の氾濫など甚大な被害が生じたところであり、今後についても、大規模な災害の発生が危惧されています。

このような中、消防防災の要である常備消防及び消防団の一層の充実強化が求められており、当協会としても、平成25年に制定された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の趣旨を踏まえ、時代に対応した総合的な消防防災対策の充実強化を図るため令和7度は、昨年度に引き続き、以下の事業を実施します。

I 公益目的事業

1. 防災思想普及事業

県民の防火・防災に関する知識と技術の普及啓発、防災訓練等の充実、防火・防災組織の活動促進等を図るための事業

(1) 機関誌「消防千葉」の発行

県行政機関等に頒布し、常備消防・消防団の活動などの紹介記事等を通じて、地域住民の消防に対する理解と協力を促進するとともに、消防防災思想の普及啓発を図る。

年6回／各5,000部発行

(2) 「千葉県消防操法」の販売

消防職員、消防団員の消防操法技術の向上を図る。

(3) 第76回千葉県消防大会の開催

消防職員・団員の士気の高揚と消防防災体制の確立を目的に、千葉県・千葉県少年女性防火委員会と共催により開催する。

(4) 全国火災予防運動の実施

千葉県と協力して春季及び秋季全国火災予防運動を実施し、秋季には、防火ポスターを作成し、消防（局）本部・市町村等に配布し防火・防災思想の普及啓発を図る。

(5) 第46回九都県市合同防災訓練・千葉県会場を、千葉県・開催市と共催により実施（館山市）

(6) 女性防火クラブ及び幼年・少年消防クラブの活動支援

千葉県、千葉県少年女性防火委員会と共催で防火・防災ポスター展を開催するなど防火・防災思想の普及・啓発等を図る。

2. 教育訓練事業

消防・防災能力の拡充のため、消防職・団員の知識・技能の向上、消防操法の普及と訓練成果の発表、及び消防関係機関の連携・協力等を図るための事業

(1) 消防団員指導員研修の開催及び日本消防協会等主催の各種研修会への参加促進

新入団員等経験の浅い消防団員の教育訓練にあたる消防団幹部の養成を行う。日本消防協会、千葉県消防学校、千葉市消防学校及び消防大学校（国）の所定の課程を終了又は卒業した者に対し、記念品等を交付する。

(2) 第26回全国女性消防操法大会への参加及び県代表チームへの助成

(3) 千葉県女性消防団員活性化シンポジウムの開催等

女性消防団員の活性化等を目的に開催するとともに、第30回全国女性消防団員活性化長崎大会に参加する。

(4) 諸会議の開催

消防関係機関との協働、連絡調整、意見交換等のため諸会議を開催する。

ア 市町村消防長・消防団長会議の開催

イ 令和7年度関東甲信地区消防協会事務局長会議の開催

ウ 地域振興事務所等との消防業務連絡会議の開催

3. 弔慰救済事業

郷土防災の使命を果たし、その職に殉じられた御霊を慰め、併せて防災思想の普及等を図るための事業

(1) 第61回千葉県消防殉職者慰霊祭の開催

(2) 第44回全国消防殉職者慰霊祭への参加

4. 報償事業

消防防災に功労・功績のあったものに対して表彰し、消防士気の高揚等を図るための千葉県消防大会及び消防出初式において、消防協会長及び支部長による特別功労章、永年勤続功労章、功績章等の表彰を実施する。

5. 支部活動事業

各支部が実施する事業

(1) 支部研修訓練事業

消防・防災能力向上のための研修訓練事業への助成・支援を行う。

(2) 表彰事業

各支部管内の出初式等において、優秀な消防職・団員を表彰し、その活動を顕彰する。

(3) 防災思想の普及事業

各支部管内の消防（局）本部・消防団と連携して防災思想の普及を図る。

II 相互扶助事業等

1. 消防団員等を対象とした共済事業及び健康増進事業

消防職・団員等の福利厚生に資するための事業

(1) 日本消防協会が実施している消防団員等福祉共済及び消防個人年金並びに全日本消防人共済会が実施している火災共済制度の事務処理を行い、適正な運営と各制度への加入促進を図る。

(2) 消防団員の健康管理に資するため、日本消防協会の助成を受け、健康増進機器等の交付及びスポーツ大会等の経費の一部を助成する。

2. 弔慰見舞事業

職務において死亡・障害者となった者などに対し、その崇高な活動に報いるために弔慰見舞金等を贈呈する。

3. 退職者報償事業

退職会員で在職中の功績が特に顕著な者に対し、その功績に報いるために感謝状及び金盃を贈呈する。

4. あっせん事業

消防職・団員の福利厚生を促進するために、日本消防協会から提供される各種物品等に係る斡旋を行う。

5. 施設貸与事業

千葉県消防会館を有効利用するために、会議室としての利用や、空室の消防関係団体等への有償貸与を勧める。

6. 法人活動事業

協会活動に資するための事業

(1) 千葉県や（公財）日本消防協会等の諸会議及び諸行事に出席し、情報収集、意見交換等を行う。

(2) 理事会、評議員会等を開催する。

令和 7 年度主要行事予定

(公財) 千葉県消防協会

(R7・3現在)

行 事 名		日 時	場 所
1	地域振興事務所等における消防事務連絡会議	4月 9日(水) 14:00	千葉県消防会館
2	消防学校初任科第179期入校式	4月11日(金) 11:00	千葉県消防学校
3	千葉県女性防火クラブ連絡協議会監査	5月19日(月) 午前	千葉県消防学校
4	千葉県少年女性防火委員会監査	5月19日(月) 午後	千葉県消防学校
5	千葉県少年女性防火委員会役員会	5月21日(水) 14:00	千葉県消防会館
6	消防協会監事会	5月23日(金)	千葉県消防会館
7	千葉県女性防火クラブ連絡協議会役員会	5月27日(火) 11:00	ポートプラザちば (ポートルーム)
8	定時理事会	5月30日(金) 16:00	ポートプラザちば (パール)
9	定時評議員会	6月26日(木) 14:00～	ポートプラザちば (房総)
10	消防長・消防団長会議	7月31日(木)	市原市市民会館
11	消防学校初任科第179期卒業式	9月19日(金) 13:30	千葉県消防学校
12	第44回全国消防殉職者慰霊祭	9月11日(木)	ニッショーホール
13	女性防火研修会	9月下旬	千葉県消防学校
14	消防学校初任科第180期入校式	10月 2日(木)	千葉県消防学校
15	第46回九都県市合同防災訓練	10月19日(日)	海上自衛隊館山基地
16	第26回全国女性消防操法大会激励交流会	10月27日(月)	横浜市
17	第26回全国女性消防操法大会	10月28日(火)	横浜市
18	第61回消防殉職者慰霊祭	10月30日(木)	千葉県消防学校
19	第30回全国女性消防団員活性化長崎大会	11月13日(木) 10:00	出島メッセ長崎
20	消防団員指導員研修	11月22日(土)～23日(日)	千葉県消防学校
21	臨時理事会	12月中旬	ポートプラザちば
22	女性消防団員活性化シンポジウム	令和8年2月上旬	ポートプラザちば
23	第78回日本消防協会定例表彰式	令和8年3月 6日(金)	ニッショーホール
24	第76回千葉県消防大会	令和8年3月17日(火)	青葉の森芸術文化ホール
25	消防学校初任科第180期実科査閲	令和8年3月18日(水)	千葉県消防学校
26	消防学校初任科第180期卒業式	令和8年3月19日(木) 13:30	千葉県消防学校
27	定時理事会	令和8年3月中旬	千葉市内
28	臨時評議員会	令和8年3月下旬	千葉市内

令和6年度千葉県消防広域応援隊合同訓練



千葉県内消防機関の技術及び連携活動能力の向上、並びに消防機関と医療機関との連携活動能力の強化を図ることにより、千葉県における大規模地震等の災害発生による甚大な被害の軽減を図るため、県内消防機関で編成される千葉県消防広域応援隊による合同訓練が前年度は能登半島地震への災害支援のため中止されたため2年ぶりに実施されました。

(千葉県消防広域応援隊とは)

県内で大規模災害が発生した場合、千葉県知事の指示を受け、被災地において人命救助活動等を行うことを任務とする、県内消防(局)本部の消防隊、救助隊及び救急隊等で編成される広域応援部隊のことです。

訓練概要

1 実施日時及び実施場所

令和7年2月27日(木)午前8時30分
～ 28日(金)午前10時00分

- (1) 応援要請、参集訓練
各消防本部等
- (2) 被災地受援・進出拠点到着時の対応訓練
千葉県消防学校隣地
- (3) 部隊運用訓練
千葉県消防学校・千葉市消防学校
- (4) 宿営訓練
市原市総合防災センター

2 参加機関等

- (1) 主 催：千葉県
- (2) 共 催：千葉県消防長会
(公財)千葉県消防協会
- (3) 参加機関：県内31消防(局)本部76隊
約300名
災害派遣医療チーム
(千葉県DMAT)

3 訓練想定

千葉県北部を震源とした直下地震が発生し、地震の規模はM7.7、八千代市では震度6強を観測した。この地震により八千代市では建物の倒壊、道路の損壊等により多数の被害が発生している。

千葉県知事は本県に甚大な被害があるとして、千葉県消防広域応援隊の出動を指示した。この指示に従い、各消防(局)本部は、八千代市に出動し消防活動を実施する。



穴澤副知事挨拶



石橋協会長挨拶



火災対応訓練



多重衝突事故救助訓練

第178期 消防職員初任科卒業式

千葉県消防学校

令和7年3月19日(水)、千葉県消防学校大講堂において消防職員初任科第178期の卒業式が行われました。令和6年10月3日の入校から6か月、28所属160名の若々しい消防職員が厳しい研修を終了し、消火・救急救助知識及び技術を習得し、それぞれの職場に戻り第一線で活躍することになります。

当日は、各消防(局)本部消防長が見守る中、厳粛に執り行われ、国歌斉唱の後、卒業生の氏名が点呼され、各人が緊張した面持ちで卒業証書の授与を受け、最優秀賞1名、優秀賞7名、努力賞8名の表彰と卒業生全員に記念品が贈呈されました。

その後、横田千葉県消防学校長の告辞、千葉県知事(代理 添谷防災危機管理部長)、千葉県消防協会長(代理 芝岸副会長)、千葉県消防長会長(代理 内山副会長)の祝辞に続き卒業生を代表して佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部の宍倉大輝学生から答辞が述べられ、最後に校歌斉唱が行われ終了しました。



横田消防学校長

知事代理
(添谷防災危機管理部長)協会長代理
(芝岸副会長)

代表答辞 (宍倉大輝学生)

また、前日の18日(火)には、教育訓練の成果を確認するために9時30分から消防学校屋外訓練場において「実科査閲」が行われました。学生集合、通常点検、訓練礼式、救急訓練、機器取扱訓練、救助訓練、体力向上体操、最後には全員による活動訓練の集大成として消防活動、救出訓練及び一斉放水訓練が実施されました。



学生集合



中隊訓練



救急訓練



救助訓練



総合活動訓練



一斉放水訓練

第179期 消防職員初任科入校式

千葉県消防学校

令和7年4月11日(金)、千葉県消防学校大講堂において、消防職員初任科第179期の入校式が行われ、30所属140名の若々しい学生が入校しこれから6か月間の厳しい研修が始まります。

入校式は、各消防(局)本部消防長が見守る中、厳粛に執り行われ、一同敬礼の後、開式のことば、国歌斉唱、入校生指名点呼に続いて横田千葉県消防学校長の式辞が述べられ、来賓として千葉県知事(代理 青柳防災危機管理部長)、千葉県消防協会長、千葉県消防長会長(代理 石森副会長)からの祝辞がなされました。

続いて、入校生代表(市川市消防局 尾瀧大樹君)が宣誓を行い、研修に励み一人前の消防職員になる旨の誓いが述べられました。



入校生宣誓(市川市消防局 尾瀧君)



横田消防学校長



千葉県知事(代理 青柳防災危機管理部長)



石橋消防協会長



消防長会会長(代理 石森副会長)

第75回千葉県消防大会

令和7年3月5日(水)、千葉市中央区にある「青葉の森公園芸術文化ホール」において第75回千葉県消防大会が行われました。

この大会は、消防職員・団員の士気の高揚と消防防災体制の確立を図るため、千葉県、(公財)千葉県消防協会、千葉県少年女性防火委員会の主催により毎年行われています。

当日は開会のことばに始まり、国歌斉唱、消防殉職者に対する黙とうに続き、熊谷千葉県知事、石橋消防協会長の挨拶、瀧田敏幸千葉県議会議長の来賓祝辞の後、それぞれの表彰と叙勲や褒章等の受章者の紹介が行われました。

それぞれ受章された皆様、また御家族の皆様、誠にありがとうございました。



熊谷千葉県知事挨拶



石橋消防協会長挨拶



瀧田県議会議長祝辞

第75回千葉県消防大会受章者等一覧

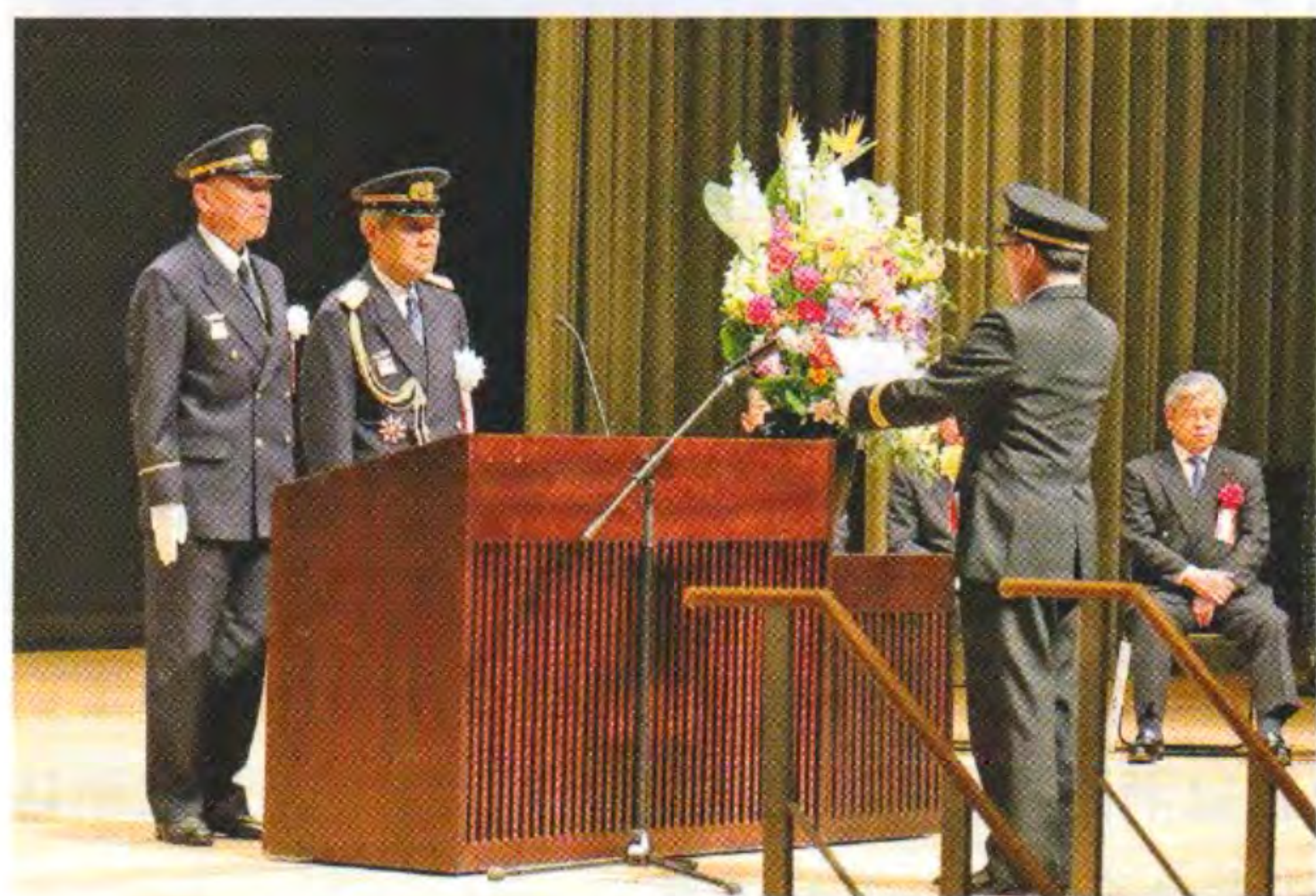
表 彰 種 別	表 彰 者 数
千 葉 県 知 事 表 彰	特別功労章15名、永年勤続功労章60名、配偶者功労36名 千葉県石油コンビナート等防災関係知事表彰1団体 消防団協力事業所感謝状3団体
千葉県消防協会長表彰	特別功労章10名、配偶者感謝状3名、永年勤続功労章316名 配偶者感謝状242名、功績章31名、表彰状6名、特別表彰1機関、感謝状3名
千葉県少年女性防火委員会 会長 表彰	優良幼年消防クラブ表彰1クラブ
消 防 庁 長 官 表 彰	功労章7名、永年勤続功労章100名、救急功労者表彰1名 消防団等地域活動表彰2機関・1団体
日本消防協会長表彰	功績章31名、精績章75名、勤続章356名
叙 勲 ・ 褒 章 等	春の叙勲9名、秋の叙勲11名、第42回危険業務従事者叙勲33名 第43回危険業務従事者叙勲32名、春の褒章4名、秋の褒章3名 安全功労者総務大臣表彰1名 自治体消防制度75周年記念表彰34名・3団体 文化の日千葉県功労者表彰3名



千葉県知事表彰



千葉県消防協会長表彰



黒川勝浦市消防団長による受章者代表謝辞



畔蒜消防協会顧問会長による万歳三唱

第77回 日本消防協会定例表彰式

令和7年3月7日(金)、「第77回日本消防協会定例表彰式」がニッショーホールで全国各地の消防団員、消防職員、消防協会関係者等の参加により執り行われました。

永年にわたる顕著な功績が認められ、特別表彰「まとい」10団を初め、特別功労章10名、優良消防団（表彰旗）37団、優良消防団（竿頭綬）89団、功績章873名、精績章2,098名、勤続章9,635名、優良女性消防隊（表彰旗）7隊、優良女性消防隊員（功績章）7名、永年勤続職員表彰10名の表彰が行われました。

本県では、功績章31名、精績章75名、勤続章356名が受章し、会場へは日本消防協会評議員である石橋消防協会長、芝岸副会長及び協会専務理事が出席しました。



わが町の消防団

横芝光町消防団

横芝光町は千葉県北東部に位置し、東西約5km、南北約14kmと南北に細長く、面積は67.01km²で、白砂青松の続く九十九里浜が広がる太平洋に面し、町中央部にはかつての上総国と下総国の境界であった九十九里平野における最大河川「栗山川」が流れ、海・山・川と豊かな自然に囲まれた町であります。

川島光男団長を筆頭に、定数438人の消防団員、1本部、8分団、26部で組織し、団本部指揮者1台、団本部資機材運搬車1台、ポンプ自動車9台、小型動力ポンプ付積載車17台（うち水槽付3台）を配備し、約2万2千人の町民の生命・財産を守るために日夜活動しています。



年間を通じて、主な消防団活動各種活動を紹介すると、4月に消防団幹部を対象とした教養訓練、各部団員を対象に自動体外式除細動器（AED）を用いた普通救命講習会を開催し、消防団員としての資質向上を図っています。5月には消防技術・知識の更なる向上を目的に消防ポンプ操法大会を開催しています。

この大会で優勝した分団は山武消防ポンプ操法大会に出場し、昨年度は小型ポンプ操法の部で優勝し、第30回全国消防操法大会千葉県代表選考会に出場し、山武郡市の代表として見事第2位の優秀賞を受賞しました。

また、地震や風水害等の大規模災害発生時には消防団の活動が非常に重要であることから毎年9月に町全域を対象として開催される防災訓練には消防団として参加し、避難誘導訓練及び情報伝達訓練や初期消火訓練を実施し、町及び防災関係機関・町民と一体となって防災意識の高揚に努めています。



秋季の全国火災予防運動週間には、火災予防の一環として、町内一円を巡回する「防火パレード」を実施し、積極的に防火啓発の普及に努めています。11月には各団員の実戦的な消火活動の技術・知識の習得、迅速確実、且つ実戦的な能率を目的とした、中継放水訓練を匝瑳市横芝光町消防組合消防本部の指導を頂き火災防御に万全を期す訓練を実施しております。

近年、全国的に消防団員の減少が問題となっておりますが、当消防団においても重要な課題となっていることから、消防団の必要性を幅広く啓発していくことで、消防団員がスムーズに確保できるように努め、更には消防団OBや消防協力者で構成する機能別分団の制度を検討していきたいと考えております。



今後も「安心・安全に生活できる町」、「地域に根ざした消防団」を目指し、町民の期待に応えられるよう精進して参りたいと思います。

東 南 西 北

東 西 南 北 実災害対応訓練の実施について 市原市消防団

令和6年9月29日(日)市原市消防団345名が、市原市総合防災センターへ集結し、①チェーンソー訓練 ②倒壊建物救出訓練 ③狭隘空間訓練を実施しました。林業を生業とする団員2名と本市高度救助隊が講師となりチェーンソー訓練、ジャッキを活用した救出訓練や狭隘空間での切断訓練など、団員同士が自身の役割を認識し、互いに声を掛け合い安全管理のもと実災害を想定した訓練を行いました。災害のない事を祈り、備えて参ります。



東 西 南 北 消防団協力事業所を認定 銚子市消防本部

銚子市消防本部では、令和6年10月23日(水)、ヒゲタ醤油株式会社に対し消防団協力事業所表示証交付式を行いました。

消防団協力事業所表示制度は、地域の事業所等との連携協力体制を構築することで、消防団員の確保や活動する環境を整備することを目的に設けられた制度です。事業所にとりましては、地域社会に貢献している証しとなり、イメージアップにつながります。

今後も地域防災の充実強化、団員の確保に努めて参ります。



東 西 南 北 救急研修会を開催 安房郡市消防本部

令和6年10月25日(金)館山市コミュニティーセンターにおいて、救急救命東京研修所の卒業生による最新の救急活動と現場に出動する消防、救急隊の活動の知識や技術を高めることを目的に救急研修会を開催しました。

参加者(79名)は、従来のCPR(心肺蘇生法)からCPCR(心肺脳蘇生法)を行うことにより、質の高い心肺蘇生をすることでCCF(心肺蘇生法を行っている時の胸骨圧迫時間の割合)を高めると蘇生率、社会復帰率を高めることを学び訓練人形を使い実習を行いました。



東 西 南 北 **予防応用研修を実施** **松戸市消防局**

松戸市消防局は、令和6年10月16日(水)、17日(木)に主に予防業務を行う消防署員に対して、違反処理に関する研修を実施しました。

研修は講義と消防法第5条の3「消防吏員の即時命令」のシミュレーションを行い、実際の現場でもスムーズに実施できることを目標として、班で役割を決めて、覚知から物品撤去後の説明までの一連の流れを実施しました。命令後も防火対象物関係者と関わっていくことになるため、トラブルにならないように説明や接遇も大切にして、防火対象物関係者が常に法令遵守する義務があることを認識できるよう取り組んでいきます。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和 7年5月・6月

- 5月21日 千葉県少年女性防火委員会
- 23日 千葉県消防協会監事会
- 27日 千葉県女性防火クラブ連絡協議会役員会
- 30日 千葉県消防協会定時理事会
- 6月 4日 関東甲信地区消防協会会議
- 26日 千葉県消防協会定時評議員会

2025年度 全国統一防火標語
「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

<表紙の説明>

頼朝桜と佐久間ダム公園（安房支部）

石橋山の戦いに敗れた源頼朝が、舟で逃れ辿り着いた鋸南町の竜島海岸。

そこから安房の地で再起を図り、再興を果たしたという史実にちなみ、鋸南町では河津桜に頼朝桜の愛称をつけました。

そんな頼朝桜が数多く植栽されている佐久間ダム公園は、12月初旬からの水仙の開花に始まり、頼朝桜、ソメイヨシノと続く花のリレーで4月上旬まで様々な種類の花が湖畔を鮮やかに彩ります。

また、5月から11月は湖畔の都市・農村交流広場でキャンプもお楽しみいただくことができます。

